

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓「全力をつくせ」のもと、知・徳・体の調和をとり、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成をめざす。

- ・自ら学ぶ子・・・練習を重ね基礎力をつけ、問題意識をもって追究する子ども
- ・心豊かな子・・・命と心を大切にし、読書により豊かな想像力をもった子ども
- ・体鍛える子・・・「心・技」を重んじ、丈夫な体を自らつくり上げていく子ども

(2) 経営方針

本校の教育活動は、子ども一人一人に内在する力を引き出し、それを伸ばすために行う。様々な人や自然風土や地域社会とのかかわりの中で、子どもの命の輝きが育まれる学校創りをする。また、持続可能な社会の担い手としての資質向上をめざす。

ア 子どもの良さと可能性を見つけ、認め、育み、鍛え、その力を最大限に引き出す教育活動を創意工夫して展開する。(子どもが輝く学校)

イ 教育者としての使命感をもち、子どもをとらえ、一人一人を生かし、命と心を大切にしたい指導のできる力量に富んだ職員を育てる。(職員が輝く学校)

ウ 情報公開、家庭や地域との連携、学校評価を積極的に進める中で、子どもの活動を通して、家庭や地域との絆を深め、信頼される学校をめざす。(学区を輝かせる学校)

(3) 本年度の重点努力目標

ア 授業改善・学力向上

- ・学ぶ楽しさを感じる授業づくり ・チーム学習を取り入れた協働的な学び合いの構築
- ・深い学びにつなげる教材研究
- ・ICT 機器やオンライン環境を活用したオーセンティックな授業実践

イ いじめ、長期欠席対応

- ・子ども、保護者に寄り添った指導実践 ・日々の子どもの変化に気付く観察力の向上
- ・迅速かつ組織的な指導体制の構築

ウ 保護者との関係づくり

- ・学校での活動を適宜HP等で発信していく
- ・子どもの姿を適切に伝え、連携した指導となるよう連絡を密にする
- ・子どもの信頼を得ることは保護者の信頼を得ることになる

エ 多忙化解消にかかる業務改善

- ・会議、打合せの効率化をする中での業務削減 ・部活動の時間のさらなる見直し
- ・個々のタイムマネジメント能力向上への取組

(4) 目指す教師像

ア 子どもの手本となる教師

- ・自らあいさつ ・整理整頓 ・丁寧な言葉遣い

イ 子どもを大切にする教師

- ・子どもの話を最後まで聞く行動 ・常に子どもの側にいるという意識と行動

ウ 危機対応力の向上を目指す教師

- ・未然管理が第1歩であるという意識の徹底 ・子どもを全力で守るという組織づくり
- ・いざというときは、被害を最小限にする行動の徹底